

## 不登校児童生徒への対応取組状況

### 1、小・中、過去5年間の人数の変動

小学校 (%)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
全国	0.40	0.43	0.47	0.55	0.70
兵庫県	0.28	0.32	0.38	0.52	0.65
宝塚市	0.17	0.34	0.29	0.43	0.53
宝塚市 不登校児童数(人)	22	42	36	53	65

中学校 (%)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
全国	2.88	2.95	3.14	3.38	3.65
兵庫県	2.69	2.83	3.15	3.63	4.30
宝塚市	2.85	3.01	3.21	3.85	4.33
宝塚市 不登校生徒数(人)	162	168	178	208	227

### 2、対応策

未然防止のために、学校ではこころとからだのアンケートや面談の実施、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家との連携により子どもへの理解を深め、また、休みがちになった子どもに対しては、家庭訪問やケース会議を通して適切な支援策を講じています。

一方、教育委員会では、毎月、教育支援課、学校教育課、青少年センターが、家庭児童相談室とともに「長欠児童生徒に関する情報交換会」を開催しており、その中で、必要な対策や支援方針を協議し、不登校の未然防止や状況の改善を図っています。また、小・中学校に「心理相談員」を、中学校に「コーチングサポーター」や「別室登校指導員」を派遣し、集団生活に不適応を起こしがちな児童生徒への個別対応や、教室以外の居場所確保などに努めています。さらに保護者に対しても、教育支援課の教育相談や、学校でスクールカウンセラーに相談できる環境を整えています。また、不登校になった場合は、訪問指導員や学生ボランティアなどによる家庭訪問、中学生には適応指導教室「Palたからづか」での受け入れを行っており、本年度からは同教室で小学生の受け入れも5、6年生から段階的に始めています。